

資料1-7

●がん教育・普及啓発（がん教育推進会議）

めざす姿	<p>■最終目標 児童、生徒が、子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見に注意を払っています。また、自分や身近な人ががんになっても、それを正しく理解し、向き合っている。</p> <p>■中間目標 発達段階に応じた系統立てたがん教育に取り組んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高等学校におけるがん教育の充実、推進</li> <li>・小学校（高学年）におけるがんに関する啓発活動の推進</li> <li>・がん教育の普及啓発の推進</li> <li>・がん対策全般に関する普及啓発の推進</li> </ul>
会議の実施（予定）	<p>第1回がん教育推進会議（6/21）、第2回がん教育推進会議（9月予定） 第3回がん教育推進会議（1月予定）</p>
令和元年度計画	<p>【がん教育総合支援事業の継続実施】 ※ 学習指導要領に対応した啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推進会議の開催（年3回開催予定）</li> <li>○ 教材作成ワーキング会議の開催（年間6回程度開催予定）</li> <li>○ 「がん教育」研修会の実施（教職員・外部講師対象）</li> <li>○ 小・中・高等学校のがん教育実施状況調査の実施</li> <li>○ 高等学校（モデル校7校）における外部講師を活用したがん教育の拡大実施</li> </ul>

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない  
■ 基準値と比較して改善している

5. がん教育

分野別目標		指標	基準値	H30年度	目標値	出典				
分野	目標									
<b>5 がん教育・普及啓発</b>										
最終目標	中学生、高校生におけるがんに関する知識の向上	早期発見すれば、がんは治りやすい	92.8%	97.7%	4.9%	96.4%	98.5%	2.1%	がんの教育実施状況調査（文部科学省）  * 現状値（基準値）は、第2期計画の間にモデル校の生徒（中学生・高校生）を対象に行った「がんの教育実施状況調査（文部科学省 H26～29年）」の平均値	
		がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う	82.4%	88.1%	5.7%	87.5%	90.7%	3.2%		
		がんになっている人も過ごしやすい世の中になりたい	92.9%	96.0%	3.1%	89.9%	96.8%	6.9%		
		がんと健康について、まずは身近な家族から話そうと思う	77.7%	82.4%	4.7%	77.2%	83.4%	6.2%		
		将来、たばこは吸わないでいようと思う	85.9%	93.7%	7.8%	95.8%	96.1%	0.3%		
中間目標	中学校、高等学校において、がん教育教材を使用したがん教育が実施できている	中学校、高等学校のがん教育の実施率 ・中学生 ・高校生	74.4%	64.1%	(H28)	81.7%	55.9%	(H29)	増加	がんの教育実施状況調査（文部科学省）
	小学校において、「奈良県がん向き合う日」を活用し、がんに関する啓発ができてい	啓発用リーフレットを活用したがんに関する啓発の実施率	-	-	-	90.3%	(H29)	増加	がんの教育実施状況調査（文部科学省）	
施策目標	中学校、高等学校におけるがん教育の充実、推進	中学校、高等学校におけるがん教育の実施率 ・中学校 ・高等学校	74.4%	64.1%	(H28)	81.7%	55.9%	(H29)	増加	がんの教育実施状況調査（文部科学省）
	小学校（高学年）におけるがんに関する啓発活動	小学校におけるがんに関する啓発の実施率	-	-	(調査中)	47.4%	(H29)	増加	奈良県調べ	
	がん教育の普及啓発の推進	教員を対象としたがん教育に関する研修会の実施回数	1回	1回	(H28)	1回	(H29)	維持	奈良県調べ	
	がん対策全般に関する普及啓発の推進	「がんネットなら」ページビュー数	69,241件	60,721件	(H28)	60,721件	(H29)	増加	奈良県調べ	